

第3号様式（第6条関係）

令和7年12月22日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（SDGs 応援事業補助）

（宛先）

戸田市長

団体名 . r（ドットアール）

代表者職・氏名 神尾英美

所在地



事業名	専門家を招いた生涯学習事業			
SDGs の 該当ゴール	No. 4 質の高い教育をみんなに すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯 学習の機会を促進する No. 17 パートナリーシップで目標を達成しよう			
確定前交付の希望	☒ 希望する		☐ 希望しない	
連絡担当者	氏名			
	住所			
	電話			
	Fax			
	E-mail			
ホームページ	https://todasimin.net/group_140/			
設立年月日	令和4年	2月	2日	設立
会員数	8人			
年会費	0円／1年間			

団体の目的	市民が知りたい様々な分野について専門家を招いた講演を開催し、地域に根差した生涯学習を推進する
主な活動実績	令和4年9月：性教育講演「知っているようで知らない思春期世代のココロとカラダ」 令和5年2月：DV・デートDV基礎講座 令和5年8月：性教育講演「知っているようで知らない思春期世代のココロとカラダ #2」 令和6年3月：サイバーセキュリティ講演 令和6年7月：法律講演「新しい法律～親が知っておくとよいことはなに？～」 令和6年10月：性教育講演「思春期世代のココロとカラダ #3」 令和7年3月：防災講演「思春期世代の避難所生活」 令和7年7月：サイバーセキュリティ講演「ネット社会を生きる子どもたちに親ができる安全サポート」
これまでの補助金等の援助状況	令和6年度 戸田市共創のまちづくり補助金：5万円 令和6年度 社会福祉法人戸田市社会福祉協議会地域支え合い助成金：3万円
団体PRなど	生涯学習が必要とされる背景には、 1. スキル習得や心の豊かさ、生きがいを求める学習需要の高まり 2. 人生をより豊かに過ごすための学びの必要性 3. 社会や経済の変化に柔軟に対応するための知識習得 という3つの理由があります。 .r（ドットアール）は、「正確な情報と最新の知識を、誰もが気軽に学べる場をつくること」を目標に活動しています。 「こんな講演が近所であったら嬉しいよね」という市民の声をかたちにするため、家事・育児・仕事の合間を縫いながら、メンバーが力を合わせて少しずつ活動を積み重ねてきました。 私たちは、すべての人が生まれながらに尊厳を持ち、大切にされるべき存在であるという思いを大切にしています。 その思いが伝わる、あたたかく学びのある講演を目指し、無理なく・楽しく・互いを尊重しながら活動しています。

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性・課題

SDGs の該当ゴール：4. 質の高い教育をみんなに 17. パートナリーシップで目標を達成しよう

事業の目的

近年、生涯教育という言葉が耳にする機会が増え、大人が主体的に学び直すことの重要性が高まっています。

子どもたちは、ICT 教育・消費者教育・性教育など、社会で生きていくために欠かせない知識を学校で学ぶようになりましたが、その背景には、家庭で保護者が適切に支えられることが欠かせません。

しかし、現在の子育て世代や祖父母世代の多くは、こうした教育を体系的に学ぶ機会がないまま大人になっており、「子どもが学校で習った内容を質問されても答えられない」「正しい情報を専門家から学びたいが、時間や費用の面で難しい」といった声が少なくありません。

こうした状況をふまえ、.r（ドットアール）は、専門家による講演という形で、気軽に参加できる質の高い学習の機会を市民に提供することを目的としています。講演を通して得られた新しい知識や気づきが、家庭や地域へと広がっていくことで、学びの輪が波及し、地域全体のリテラシー向上につながることを目指しています。

2 事業の具体的内容

【実施日時・会場】

2026 年 2 月 11 日（水・祝） 13 時 30 分～15 時 30 分

戸田市ボランティア・市民活動支援センター TOMATO にて実施する。

【講師紹介：櫻井裕子】

助産師。地域母子保健事業や看護専門学校の非常勤講師として活動しながら、小学生～大学生および保護者を対象に、性に関する講演を年間 100 回以上行っている。

- ・（公社）日本助産師会 安全対策委員
- ・（一社）埼玉県助産師会 思春期保健事業メンバー
- ・（一社）埼玉県助産師会 プレコンセプションケア普及メンバー
- ・埼玉県母性衛生学会 理事

など、多方面で思春期保健・性教育の普及に携わっている。

最新の知見と現場での経験に基づいた、わかりやすく実践的な講演に定評がある。

【講演内容（3 時間）】

① 講演（120 分）

思春期世代の子どもを持つ保護者が知っておくべき内容として、

- ・身体の変化・心の発達・性に関する最新情報を、科学的根拠と現場の実例を交えて解説する。

② 質疑応答 (60 分)

保護者が日常で直面している疑問や不安に直接応える時間を確保し、双方向の学びを促進する。

※時間に余裕がある場合は、講演終了後に個別相談も実施する。

【対象者・定員・参加費】

市民・定員 20 名

思春期世代の子どもを持つ保護者を中心に、関心のある市民を幅広く受け入れる。

参加費 500 円

【広報方法】

これまでの参加者へのメール案内に加え、

- ・Instagram での発信
- ・知人ネットワークへの情報共有
- ・戸田市内公共施設へのチラシ配架
- ・市施設アカウントによる SNS 発信依頼

など、多方面から周知を行い参加者を募る。

【会場環境づくり】

誰もが安心して参加できる環境づくりのため、以下を整備する：

- ・レジャーシートを敷いた簡易キッズスペース
- ・手話通訳者の配置
- ・飲み物やお菓子の提供によるリラックスできる空間の演出

子育て中の保護者や、多様なニーズを持つ参加者にも配慮した運営を行う。

3 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
10月20日	講師スケジュール仮押さえ
11月29日	定例ミーティング
12月16日	会場予約
1月上旬	講師・スタッフ合同ミーティング
2月初旬	最終ミーティング
2月11日	講演実施

4 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

動員目標 15 名

キッズスペースと手話通訳を準備して参加対象を広げる

戸田市内の公共施設にチラシの配架を申請する

戸田市の公式 SNS で事業の情報を発信する

- ・参加者アンケート回収率 目標：60%
- ・アンケート項目「講演の満足度」目標：80%
- ・アンケート項目「今日の講演の内容を誰かに話したいと思う」目標：80%

講習の満足度を可視化し生涯学習の必要性を確認する。メンバーで結果を共有し、次の開催に活用する。

安定的、自立的な運営を実現するために、講演の開催費用について戸田市内の企業に協賛のお願いをしていきたい。その際に市民の皆さんの声が後押しとなるのでアンケートに協力してほしい旨を伝え、回収率の向上を図る。

- ・今後の講演の周知、アンケート項目「次も参加したいと思う」目標：80%

金融教育（学校で行われている金融教育と同じ内容を学び子供に聞かれたときに答えられるようになりたい）、消費者教育（18 歳成人で気を付けることを知りたい）、防犯教育（闇バイトの実態を知りたい）、労働教育（ブラックバイトの対処方法や相談窓口を知りたい）、戸田市について（行政サービスや市の取り組みについて知りたい）など、学ぶことで自分も周囲も幸せになれるような講演を準備している旨を伝え、動員数の向上につなげる。

・今回の講演で得た新しい学びを家庭や知人に伝え、新しい学びのきっかけにしてほしい。講演を受けた人が受け身の姿勢から積極的な学びの姿勢に変わること
で教育の質が高まり「4. 質の高い教育をみんな」にというゴールの達成につなげると考える。

・市と協力することで、市がカバーしきれない細やかな学びの場の提供が可能となり、「17. パートナリシップで目標を達成しよう」のゴールにつながると考える。

《収支予算書》

【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補助金・ 助成金	当補助金	50,000	
	その他		
自己資金		938	
会費		7,500	15 人×500 円
利用者負担金			
協賛金・寄附			
その他			
合 計		58,438	

【支出】

	科 目	予 算 額	内 訳	
補 助 対 象 経 費	謝礼金	30,000	講師謝礼	
	使用料	2,804	Zoom（講師オンラインミーティング） Zoom Pro 月額払い 2,804 円	
	印刷製本費	10,634	コピー代 900 円 （モノクロ 2 円×200 枚 カラー10 円×50 枚） チラシ印刷代 2,319 円（300 部） つながる book 印刷代 7,415 円（20 部）	
	消耗品費	11,000	コピー用紙、インク、紙コップ、文具他	
	食糧費	4,000	講師お茶代、飲料、お菓子他（参加者用）	
	小 計	58,438	内 訳	補助金申請額：50,000 円 自主財源：8,438 円
補 助 対 象 外 経 費				
小 計				
合 計		58,438		